重症心身障害児者施設におけるAMR対策 ~薬剤耐性菌を拡げない、つくらないために~

東京都立府中療育センター ICT・AST



1 活動概要

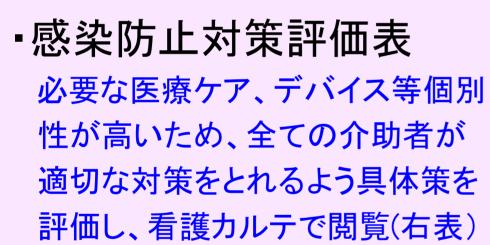
当施設の利用者はADL全介助で、呼吸・嚥下・排泄機能障害の合併が多い。生活の場であり、耐性菌保菌者の隔離や活動制限はQOLの低下につながる。これらの特徴を踏まえ、薬剤耐性菌を拡げない対策(利用者に接する全職種が共通の認識・知識を持ち、他施設と耐性菌情報を共有することにより、適切な感染予防を行う)、つくらない対策(抗菌薬適正使用に関する知識を深め、適正な使用ができるようにする)を行っている。

2 活動内容

耐性菌を拡げない対策

(1)施設内の情報共有

・接触予防策の表示 「にこちゃん」 離床時にも接触予防策の必要 性がわかるために、車いすに表示



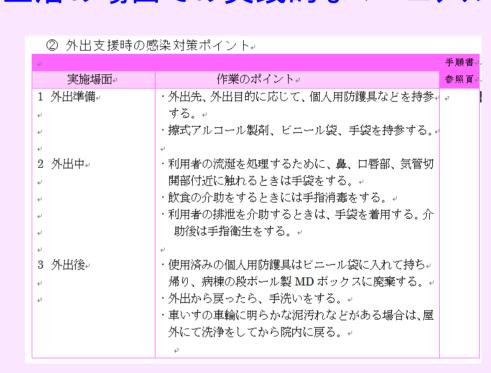
- 耐性菌保菌情報リスト 施設内の耐性菌保菌者
- ・ICTニュースレター アンチバイオグラム、耐性菌 検出状況、市中感染情報等 を毎月発信



-1	感染于防策。
	□ 個室管理を原則。
開業 .1	□ 個室確保が不可能であれば大部屋で躊躇。
	□ 大部屋で可。
検査時の対応	ロ ガウン ロ エブロン ロ 手袋 ロ マスク ロゴーグル・
	□ 器材にビニール袋を使用□器材は使用直後にショードックで清拭。
環境清掃。	ロショードック使用。
	ロ クリアパワー使用。
	□ シリアハラー使用。 □ 加圧計・聴診器・体温計・はさみなどの共有物品は患者専用とする。
使用物品。	
	ロ 共有での使用は可能だが使用毎にショードックで清拭。
処置時の原則。	□ 順番は最後 □ 順番は可能な限り最後。
00318寺。	ロ ガウン ロ エブロン ロ 手袋 ロ マスク ロ ゴーグル。
経管栄養。	
おむつ交換	
移乗時。	^ ローカワン ローエフロン ロー手袋 ローマスク ローコークル。
訓練科対応。	ロ 訓練中はガウン・手袋の着用。
	E MATERIA MONOR TO EST
	□ 濃厚接触が無い時は、防護具はなし。
病棟外	回順番は可能な限り最後。
□可 □不可.	□ 訓練中は、他の利用者との間隔を1m以上あける。 □ 共有で使用する物品はショードックで拭く(訓練で使用した道具、マット等
	ロー共有で使用する利益はショードックで扱くに訓練で使用した遺臭、マッド与 ロー個別活動 ローグループ活動メンバー所属可。
指導科対応。	
	□ 活動中に展集技能がある場合はエンロン・子装の書店。 □ 活動中の防護具はなし。
病棟外	□ 順番は可能な限り最後。
	ロ 活動中は、他の利用者との間隔を 1m 以上あける。
	共有で使用する物品はショードックで拭く(活動で使用した道具等)。
入浴。	□順番は最後。
	□ 順番は可能な限り最後。
保育・行事。	受け持ちは固定する。
	□ 濃厚な関わりがある場合はガウン・手袋の着用 (持参する)。
	ロ 活動中は、他の利用者との間隔を 1m以上あける。
	ロ 散歩・外出中の防護具はなし
	ロ 共有で使用する物品はショードックで拭く(活動で使用した道具等)。
	□順番は最後。
	ロ 順番は可能な限り最後。
保護者の対応、	ロ 主治医より耐性菌検出報告をする
	ロ ケアをおこなった後は、手洗いを励行してもらう。
	ロ ガウンまたはエプロン・手袋の着用を指導する。

(2)院内感染マニュアルの作成

生活の場面での実践的なマニュアル



(3)日常ケア時のバンドル策定

おむつ交換、入浴介助、経管栄養、カニューレ交換等、全8項目

(4)他施設との情報共有

短期利用者の主治医に、保菌状況の 提供を依頼

耐性菌をつくらない対策

(1)抗菌薬適正使用支援チーム(AST)

- ASTラウンド
- ・連携病院感染症科(都立小児総合医療センター)へのコンサルト体制構築
- (2) 医師向け講習会 抗菌薬適正使用について

